

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準評価方法  
満期保有目的の債券……償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
器具備品及びソフトウェア……定額法によっている。
- (3) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	50,525,000		1,298,206	49,226,794
小 計	50,525,000		1,298,206	49,226,794
特定資産				
投資有価証券	397,505,600	102,996,677		500,502,277
助成事業引当資産	10,000,000	5,004,010		15,004,010
特定資産普通預金	3,324,600		3,324,600	
特定資産当座預金	6,297,000	5,973,072	6,297,000	5,973,072
特定資産定期預金	100,000,000		90,376,475	9,623,525
小 計	517,127,200	113,973,759	99,998,075	531,102,884
合 計	567,652,200	113,973,759	101,296,281	580,329,678

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	49,226,794	( 49,226,794)	( )	( )
小 計	49,226,794	( 49,226,794)	( )	( )
特定資産				
投資有価証券	500,502,277	(500,502,277)	( )	( )
助成事業引当資産	15,004,010	( 5,000,000)	(10,004,010)	( )
特定当座預金	5,973,072	( 5,973,072)	( )	( )
特定定期預金	9,623,525	( 9,623,525)	( )	( )
小 計	531,102,884	(521,098,874)	(10,004,010)	( )
合 計	580,329,678	(570,325,668)	(10,004,010)	( )

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減 価 償 却 累 計 額	当 期 末 残 高
メタル刻印原型	300,000	296,998	3,002
ソフトウェア	386,400	128,800	257,600
合 計	686,400	425,798	260,602

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
第122回利付国債（20年）	49,226,794	50,770,000	1,543,206
第483回関西電力社債	99,808,864	99,300,000	△508,864
第34回三菱東京UFJ銀行社債	100,000,000	100,330,400	330,400
日本生命2011基金社債	2,000,000	2,005,600	5,600
第25回三菱東京UFJ銀行社債（劣後特約）	99,691,851	100,020,000	328,149
第61回利付国債（20年）	99,317,676	99,210,000	△107,676
第120回利付国債（20年）	99,683,886	98,600,000	△1,083,886
合 計	549,729,071	550,236,000	506,929

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
基本財産運用益の振替額	884,137
特定資産運用益の振替額	3,552,056
合 計	4,436,193